

2017年7月3日

各位

株式会社 GCI アセット・マネジメント
代表取締役 CEO & ファウンダー
山内英貴

日本版エンダウメント: 大学共同基金運用開始のお知らせ

このたび株式会社 GCI アセット・マネジメント(本社: 東京都千代田区、代表取締役 CEO & ファウンダー: 山内英貴、以下当社)は、一般社団法人大学資産共同運用機構(所在地: 東京都港区、理事長 清成忠男)および株式会社 IBJ(本社: 東京都港区、代表取締役 松田裕視)と共に、大学共同基金の運用業務を開始したことをお知らせ申し上げます。

記

1. 「大学共同基金」について

少子化とグローバル化が進み、競争が激化する中、学校法人が中長期に亘って経営の安定を担保する事業・資産運用計画を作成し、適切なリスク・リターンを踏まえた長期的資産運用を行っていくことが、喫緊の課題となっています。

そこで当社は、一般社団法人大学資産共同運用機構ならびに株式会社 IBJ と大学の資産運用に関する基本理念を共有し、本邦各大学の金融資産を運用する大学共同基金の運用を開始することとなりました。当該ファンドは米国エンダウメント(米国大学基金)の運用手法を参考に、オルタナティブ投資戦略を組み入れた長期分散投資を基本的な運用方針といたします。

当社は、2000年の創業来、オルタナティブ投資にフォーカスした独立系資産運用会社として、エンダウメント型投資戦略の研究と実践に取り組んでおり、このたびは、当社の公募投信「GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)」(2015年9月25日設定)に続いて、より本格的なエンダウメント投資モデルでの運用を実現することになりました。

2. 一般社団法人大学資産共同運用機構ならびに株式会社 IBJ について

<一般社団法人 大学資産共同運用機構: 理事長 清成忠男>

当機構は、3つのコアプロジェクトを推進しています。

- (1) 大学共同基金(University Partners Fund, UPF)の創設
- (2) 大学資産運用実績調査の推進
- (3) 大学のグローバル化事業の支援

<http://www.ibjinc.com/ssc/index.html>

<株式会社 IBJ: 代表取締役 松田裕視>

2003年12月の創立後、2007年度より、同社は急速に展開するグローバル環境の中で、企業のみにとどまらず、大学および大学関連機関を顧客とし、大学が抱える経営課題に対し、ステークホルダーへの最大価値を見出すためのさまざまなサービスを提供しています。

<http://www.ibjinc.com/index.html>

株式会社 GCI アセット・マネジメントについて

- 2000年創業の本邦独立系投資運用会社
- 日本におけるオルタナティブ投資の黎明期から、オルタナティブ投資を専門として事業展開
- 絶対リターン型の特色あるインハウス運用にフォーカスし、国産運用の強化に最注力
- 東京大学との共同研究に基づく産学協働アプローチ
- Asia Hedge Awards や Eureka Hedge Awards などでの受賞実績(2012年から3ヵ年連続)
- モーニングスター・ファンドオブザイヤー2016 優秀賞受賞 (GCI エンダウメントファンド(成長型))
- 運用資産残高:1,332億円(2017年5月末現在:グループ全体)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第436号

一般社団法人日本投資顧問業協会加入 一般社団法人投資信託協会加入

<http://www.gci.jp/>

以上

IT170614-1

【お問い合わせ先】

株式会社 GCI アセット・マネジメント

投資信託事業グループ 執行役員 チーフ・マーケティング・オフィサー

太田 創(おおた つくる) TEL:03-3556-5574 E-mail: tsukuru.ota@gci.jp